

【緑地を楽しむ本】

子どもに語る

日本の昔話 ①～③

稲田和子 筒井悦子 再話 こぐま社



お正月は、子どもや孫たちが家に集い、いつも静かな家も賑やかになります。おしゃべりしたりおいしいものを食べたり、ゲームをしたり。そんな楽しいことのひとつとして、子どもたちに昔話を語ってあげませんか。

桃太郎、かぐや姫、それくらいならすぐ語れそうです。でも、日本は昔話の宝庫です。他にもいっぱい、楽しい話、ユーモアのある話や怖い話があります。『子どもに語る日本の昔話』には、そんなすばらしい話がいっぱい収録されています。子どもたちはおじいさんおばあさんが語ってくれるそんな話の数々を、目を輝かせて聞いたことでしょう。これからの子どもたちにも、その楽しみはぜひ

体験させてあげたいですね。

お正月に私が語るのは、「天福地福」です。天から福を授かるという夢を見た正直な若者が、畑を耕していて宝物の詰まった甕を見つけます。でも、「これは地面に埋まっていたので地福だ。私が貰うはずのは天福だから、これは他の人のものだろう」と埋め戻してしまふ・・・という話。お正月らしいおめでたい話です。

図書館のお話し会などで話を聞くのもいいのですが、おばあちゃんおじいちゃんが話してくれるお話は特別なものではないでしょうか。そんなおばあちゃんになりたいな、と孫の成長を心待ちにしているこの頃です。

(小川)